



岩見沢市立小・中学校の適正配置に関する基本方針（案）に対する  
意見募集（パブリックコメント）の結果

※「意見等の内容」については、原則として原文のまま掲載しています。（明らかな誤字等と判断されるものを除く）

	項目等	意見等の内容	市教育委員会の考え方
1 女性	学校制度関係	子どもの教育保障のために、WHOも100人以下の学校規模を推奨しています。 小中一貫校に反対します。	基本方針（案）では、適正配置に関する基本的な考え方の方向性までしか記載されておらず、具体的な取り組みについては、決定されていないことから、今後の取り組みに向けての意見として承ります。
2 女性	教育予算関係 学校制度関係	教育は誰のためなのか、学校経費削減を先行しないで下さい。 小規模校は、切磋琢磨できないと言いますが、勉強を頑張り、自分を磨くことは、学校の規模に関係はありません。 小中一貫校に反対します。	
3 女性	学校制度関係	中1ギャップで、一貫校は、いじめ減、学力向上に効果的といいますが、大規模校の東京都品川区では、いじめ、自殺が相次ぎました。 一貫校と非一貫校を同一条件で比較した例が今までありません。科学的な資料で分析することなしに、一貫校が優位とは言えません。 小中一貫校に反対です。	
4 女性	学校制度関係	学校は地域の拠点として、地域の人に支えられ、文化に守られてきました。 一貫校は、歴史的な地域力が壊され子ども達の成長にも影響します。 小中一貫校に反対します。	
5 女性	教育予算関係 学校制度関係	1校あたり平均の子ども数は、学力世界のフィンランドは101人、フランス99人、イギリス190人などで、学力はもちろん、人間関係の深まりや、発達、豊かな社会性がはぐくまれているといえます。 日本の教育行政は、反対の方向ではないのですか。 なぜ、文科省だけではなく、財務省も事を決めるのですか。 教育予算は、OECDの中でも最低です。教員削減など、とんでもない。 少人数学級で、ゆとりのある教育を子どもたちにと願うのは、母親として切実です。	
6 女性	学校制度関係	クラス替えがない、学力が低い、子供関係が固定化する、部活がなりたたないから、小中一貫校にするとしていますが、公教育制度の複線化は、必要ありません。 小中一貫校に反対します。	

	項目等	意見等の内容	市教育委員会の考え方
7 女性	教育予算関係 学校制度関係	教育は誰のためなのか、学校経費削減を先行しないで下さい。 小中一貫校に反対します。やめて下さい。	
8 女性	学校制度関係	教育費の負担増や詰め込み式の教育から、子どもを育てる不安が増し、少子化につながった要因が多いと思われます。これらの原因を取り除き、少子化の減少改善に歯止めをかけるのが国や行政の大切な仕事です。 小中一貫校に反対します。	
9 女性	学校制度関係	1校あたり平均の子ども数は、学力世界1のフィンランド101人、フランス99人、イギリスは190人などで、クラス替えもなく、学力はもちろん人間関係の深まりや発達、豊かな社会性がはぐくまれているといえます。日本の教育行政は反対の事をしてしています。 小中一貫校と中学校選択制に反対します。	
10 女性	学校制度関係	小中一貫校と中学校選択制に反対します。 中学校選択制は案内パンフレットが豪華すぎます。 数校に偏りがあると懸念されます。	
11 女性	学校制度関係	小中一貫校で、5,462校の小中学校を減らせ職員も18,000人削減できるとしています。 教育予算増額こそ必要です。1人1人を大切に する原点に立ち、少人数学級を支援して下さい。	
12 女性	教育予算関係 学校制度関係	日本の教育予算はOECDの中でも最低です。予算を増やし、小規模校や少人数学級に支援してください。 小中一貫校に反対します。 コミュニティスクールは小中一貫校に関係ありません。	
13 女性	学校制度関係	学校は地域の拠点であり、教職員がいることは、地域に安心感があります。 小中一貫校に反対します。	
14 女性	学校制度関係	教師を多忙にする「コミュニティスクール」は、小中一貫校に関係ないと思います。 小中一貫校に反対です。	
15 女性	学校制度関係	地域の子ども達を育てるという観点から各種のボランティアが実施されています。 地域力が衰退します。小中一貫校に反対します。	